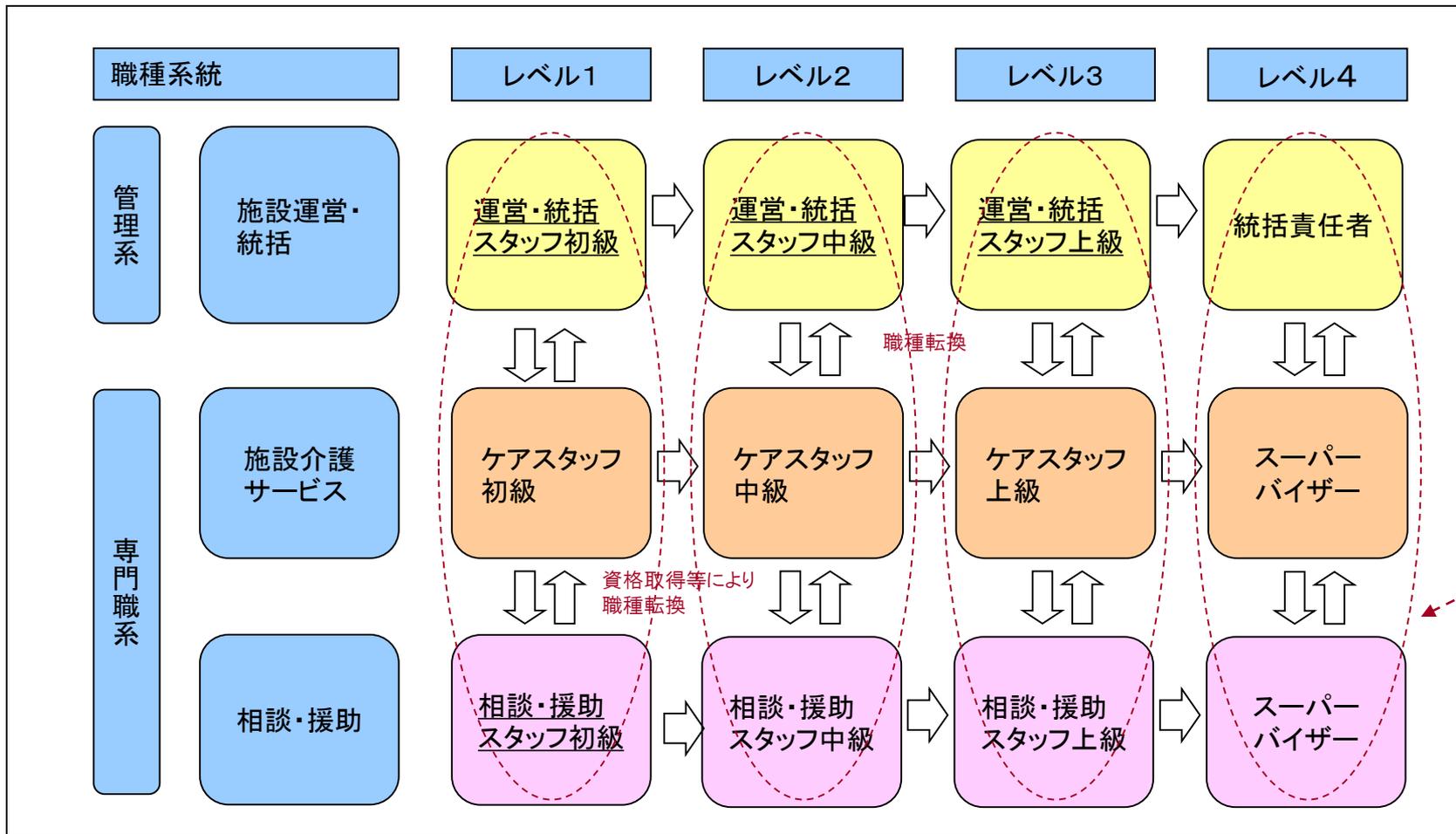


# 「施設介護業」のレベル区分の考え方

レベル区分	施設運営・統括	施設介護サービス	相談・援助
レベル4	<p>〈統括責任者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●管理統括者またはそれに準じる立場で、施設の運営方針を定め、広範かつ統合的な判断および意思決定を行いながら施設を統括する</li> </ul>	<p>〈スーパーバイザー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアスタッフの教育・指導専門職として、ケアのスーパーバイズによるスキル指導やOJT、研修講師、カウンセリング等を行う</li> </ul>	<p>〈スーパーバイザー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●相談・援助スタッフの教育・指導専門職として、下位者のスーパーバイズによるスキル指導やOJT、研修講師、カウンセリング等を行う</li> </ul>
レベル3	<p>〈上級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループやチームのリーダーとして、上位方針を踏まえて、施設の管理運営、計画作成、業務遂行、問題解決等を行う</li> </ul>	<p>〈上級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い実務知識と経験を有し、難易度が極めて高いケースにも的確に対応する</li> <li>●他者の模範となり、新人や後輩を指導する 緊急時の対応を適切に行う</li> </ul>	<p>〈上級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い実務知識と経験を有し、複雑で難易度が高いケースについても相談・援助を行うほか、クレーム、トラブルなど突発・緊急事態にも適切に対応する</li> <li>●他者の模範となり、新人や後輩を指導する</li> </ul>
レベル2	<p>〈中級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らし、自主的な判断、改善、提案を行いながら、業務を遂行する</li> </ul>	<p>〈中級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な実務知識、技能を個別ケースに応用し、状況に即して的確な介護サービスを実施する</li> </ul>	<p>〈中級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な実務知識を個別ケースに応用し、利用者・家族に対する相談・援助サービスの提供や、関係機関との連絡調整等を適切に遂行する</li> </ul>
レベル1	<p>〈初級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実務担当者として、上司の指示・助言を受けながら、担当する基本的な業務を、確実に遂行する</li> </ul>	<p>〈初級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な実務知識、技能を有し、基本的な介護サービスを決められた手順で実施する</li> </ul>	<p>〈初級スタッフ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な実務知識、技能を有し、上司の指導・助言のもと、利用者・家族に対する相談援助サービスや、関係機関との連絡調整等を担当する</li> </ul>

(注) 上表はそれぞれの職種における能力の発展段階を4段階で示したものであり、たとえ同一レベルに位置づけられている場合であっても、施設内での職位や職責、賃金処遇等は同一とは限らない。(例: 統括責任者とスーパーバイザーはいずれも「レベル4」に位置づけられているが、施設内での職位や職責、賃金処遇等は必ずしも同一ではない。)

# 施設介護業におけるキャリア形成の例



(注1) 上図はそれぞれの職種におけるキャリアルートを4段階のレベル区分に沿って示したものであり、たとえ同一レベルに位置づけられている場合であっても、施設内での職位や職責、賃金処遇等は同一とは限らない。(例: 統括責任者とスーパーバイザーはいずれも「レベル4」に位置づけられているが、施設内での職位や職責、賃金処遇等は必ずしも同一ではない。)

(注2) 「統括責任者」になるためには、一定の資格取得・講習受講等の要件を満たしていることが必要。

(注3) 図では示していない医療・健康管理系の職種を含め、複数の職種にまたがる異動パターンがあり得る。